

こども達によりそ ★つなごう支援の輪

～インド・ハイチから見えてくるもの～

in高槻



「今、東日本で起きていることはとても怖いことだと思いますが、怖がらないでください。

人は、もし恐怖に負けてしまえば、ゴールに到達することはできません。

どうか、みんなでつながりあって、この恐怖に立ち向かってください。

それが人生です。人生の中で人はもがきます。そうしなければ成功はできません。」

(ニランジャナのこどもより)



日時：6月28日(火)

13:00 ~ 19:00

会場：高槻市立総合市民交流センター

参加無料

展示&
ミニレクチャー

多目的ルーム 1階 (13:00~15:30)

「インドのこども達」・「ハイチ友の会」展示コーナー

☆ 写真展示。スライド上映。 ☆ インド裁縫教室作品展示 他 販売

☆ 絵本「手を洗おう・げんきのもと」読み聞かせ 他 販売

「～こどもと教育～インドの発展の影に」(13時、14時、15時 各20分)

ゲスト：NPO法人 ニランジャナセワサンガ 代表 山中章代さん

お話&交流

第4会議室 4階 (16:00~19:00)

「大地震を乗り越えて～ハイチ、そして日本」(16:00~17:30)

ゲスト：ハイチ友の会 代表 小澤幸子さん

交流会「ハイチからの教訓」(17:40~19:00)

東日本大震災支援で、私たち高槻は何ができるか?何をしたら良いか?みんなで話し合い実行へ

定員：50名

保育あり：定員 20名(要事前予約) ※申し込み期限 6月20日まで

[主催] NPO法人 アジア子供支援フジワーク基金 高槻市高槻町11-2 TEL. 072-686-5751

[後援] 高槻市教育委員会、高槻市市民公益活動サポートセンター、一般社団法人高槻市人権まちづくり協会

[協力] 海外協カグループ“クスクス”、多文化共生サロン高槻、NPO法人SEAN、NPO法人たかつき市民活動ネットワーク

NPO 法人 ニランジャナセワサンガ 代表 山中章代さん

2003年龍谷大学4年時に国際協力団体ニランジャナセワサンガを立ち上げる。卒業後2005年7月に大阪・堀江にインドレストランShama(サマ)を開業、インド最貧困地域ビハール州を、NPO法人、レストランの両方を通じて支援し続けている。活動内容は学校教育・孤児院・診療所・井戸建設・有機農業など多岐に渡る。

「私たちが支援しているインドの子どもたちから今回の震災をとっても心配し、応援メールをもらっています。

また子どもたちは先生たちと一緒に日本の復興支援募金活動のため村々をまわって呼びかけています。そんなインドの子どもたちにもできることがあるのだから、私たちにもできることが必ずある、そういう想いで

小さいけれど私にもできることをしています。大切な人を失った人たち、家や仕事を失った人たち、とつても

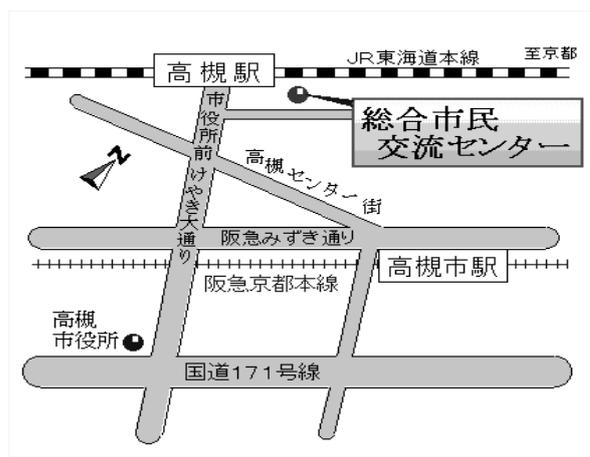
つらい状況にある人たちに、ほんの少しでも何かできればと思います。一日も早い復興を祈っています」

ハイチ友の会 代表 小澤幸子さん (内科医師)

慶應義塾大学文学部在学中、北海道南西沖地震や阪神淡路大震災の救援ボランティア活動に参加。国内外の災害・紛争地域への緊急援助活動に取り組む中、1994年カリブ海の島国ハイチ共和国に出会う。1995年ハイチにおける雇用機会の創出と子供たちの教育環境の整備を目的とするNGO、ハイチ友の会を設立。チャリティーグッズの開発・販売やハイチを紹介するイベントなどの企画を通じて支援活動を展開している。

「2010年1月ハイチ共和国を襲った大地震。推定20万～25万人の犠牲者、150万人以上の被災者が生じました。不安定な政治、経済格差、脆弱な医療体制、環境問題など現代社会が抱えるあらゆる問題に直面してきたハイチが、過酷な運命に翻弄されつつも立ち上がろうとする姿から、東日本大震災を経験した日本の私たちも学びたいと思います」

会場地図



高槻市総合市民交流センター
高槻市紺屋町1番2号
TEL.072-685-3721
(JR高槻駅すぐ)

お申し込みは下記にて、 FAX. 072-686-5752 または E-mail shimizu@asia-kids.or.jp まで

| | | | |
|--------|----|-----|-------|
| お名前 | | | |
| ご住所 | | | |
| TEL | | FAX | |
| E-MAIL | | | |
| 保育希望 | 名（ | 才） | 希望時間帯 |
| 団体名 | | | |

※ 個人情報はほかの目的には一切使用いたしません。